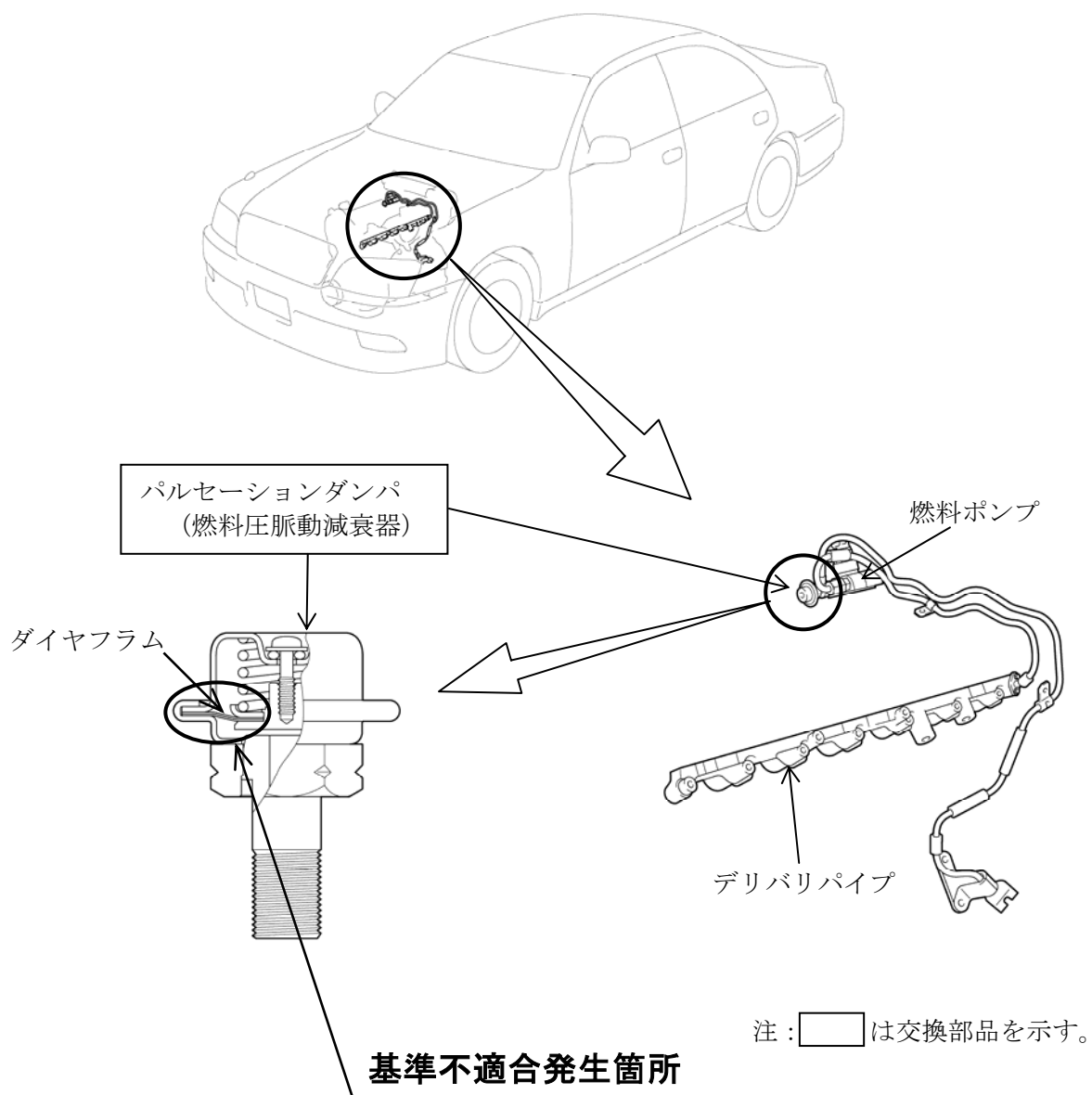


改善箇所説明図 ①



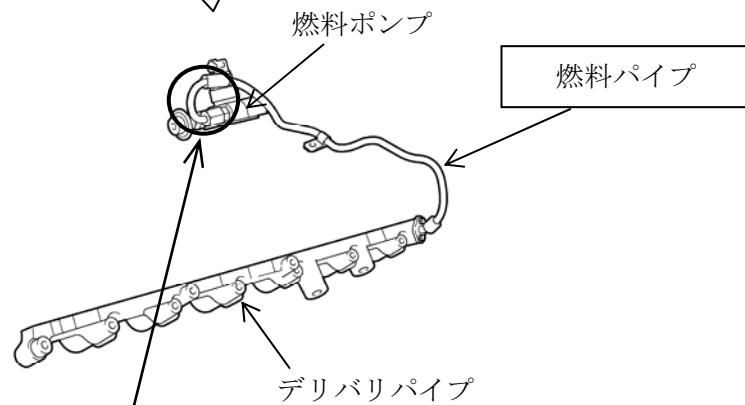
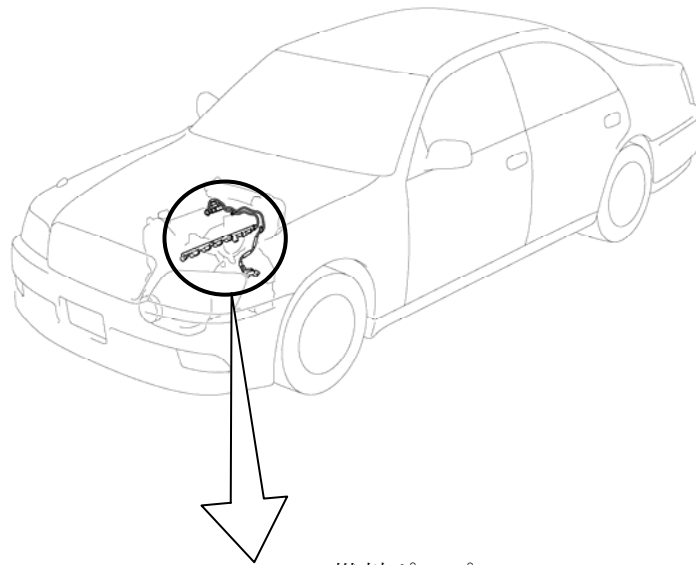
エンジンの燃料装置において、パルセーションダンパ（燃料圧脈動減衰器）のダイヤフラムの材質が不適切なため、長時間使用すると燃料の圧力変動により当該ダイヤフラムが摩耗するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ダイヤフラムに亀裂が発生し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該パルセーションダンパを対策品と交換する。

識別：改善済車両には車台番号打刻位置の中央上部に黄色ペイントを塗布する。

改善箇所説明図 ②



注：□は交換部品を示す。

基準不適合発生箇所

エンジンの燃料装置において、燃料パイプのパイプ材溶接部に対する曲げ位置が不適切なため、溶接部の応力が高くなり燃料中の微量な腐食成分が作用して微小な亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料の圧力変動によりパイプの亀裂が進行し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、当該パイプを対策品と交換する。

識別：改善済車両には車台番号打刻位置の中央上部に黄色ペイントを塗布する。